



教育目標

相互の敬愛と信頼を基とする美しい協同社会の形成者をめざして

- (1) 高い知性と広い教養を身につけよう
- (2) 品位ある豊かな心を養おう
- (3) 意志を強く持ち、自己を創造しよう
- (4) 健康の増進と体力の向上につとめよう

本校は、平成22年に創立70周年をおかえた歴史と伝統のある学校です。これまで15,000人近くの卒業生を輩出し、同窓生は、地域はもちろん、全国各地で活躍しています。

創立以来一貫していることは、本校の生徒が、良き社会人を目指して高校生活を明るく元気に過ごし、一人ひとりがそれぞれの進路実現を果たしてきていることです。

進学と就職の割合は、およそ6:4。4年制大学進学者を含め、進学者は毎日の授業や定期考査を大切にしながら進路実現を目指し、就職希望者は進路ガイダンスやインターンシップに参加し、自己理解を深めながら県内外の企業に就職しています。

本校では、進路希望に応じた教科・科目の選択制、各種の資格取得や外部講師による進路講話、輝桜祭(学校祭)・運動会・合唱コンクールなどの学校行事、活発な生徒会活動や校外でのボランティア活動など、“広い学習と広い体験”を計画的かつ積極的に展開しています。

本校に入学し、校歌の「若き日の希望にもえて すこやかに 好きほほえみを」をともに歌いませんか。

あなたの未来を
あなたに合った授業・科目で
サポートします

◇普通科 3クラス

■本校の歩み

1940年(昭和15年)

山形県酒田実科高等女学校として開校

1990年(平成2年)

創立50周年を記念して、森英恵さんデザインの制服を制定

1994年(平成6年)

多様化する進路にあわせて情報ビジネス科と普通科A1(進学)コース設置
情報ビジネス科に男子生徒も入学

2001年(平成13年)

普通科にも男子生徒が入学

2003年(平成15年)

普通科が総合選択制となる
興味・関心・進路希望に応じた科目を自由選択

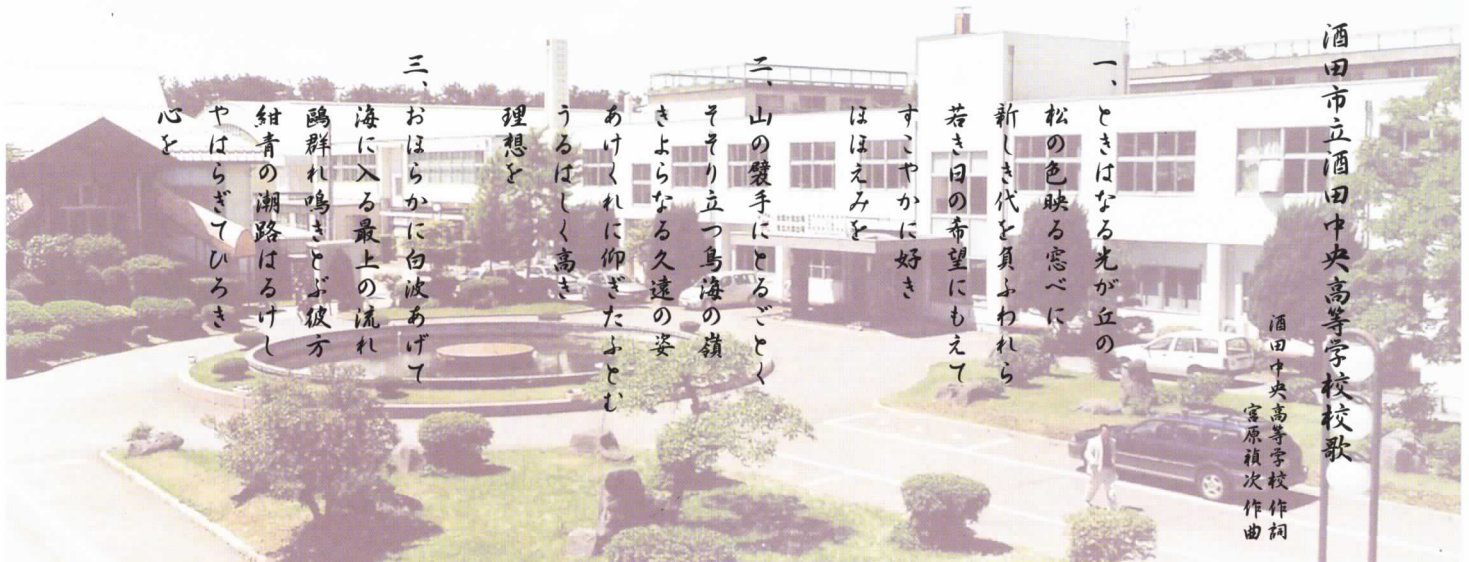
2010年(平成22年)

情報ビジネス科募集停止、
普通科3クラス(定員120名)となる

今日までに、約1万5千名の卒業生を送り出し、その卒業生は全国で活躍しています。



昭和15年にデザインされたもので、桜と松を輪郭に形どっています。「美しい愛」と「永遠の若さ」「たくましい心」を象徴しています。



酒田中央酒田中央高等学校校歌

酒田中央高等学校校作詞
宮原須次作曲

一、ときはなる光が丘の
松の色映る窓べに
新しき代を負ふわれら
若き日の希望にもえて
すこやかに好き
ほほえみを

二、山の巒手にとるごとく
そそり立つ鳥海の嶺
さよらなる久遠の姿
あけくれに仰ぎたふとむ
うるはしく高き
理想と

三、おほらかに白波あげて
海に入る最上の流れ
鷗群れ鳴きとぶ彼方
紺青の潮路はるけし
やはらぎてひろき
心と